

現地で自根キュウリの栽培講習会を開催

7月6日(水)、種から育てて接ぎ木しないのが特徴の「自根キュウリ」の栽培現地講習会が、町農業支援センターの主催で廻堰地区駒井武さん(JAつがる)に引き継いだ鶴翔きゅうり部会(会長)の園地で開かれ、きゅうり部会に所属する会員50人が、これから収穫期を迎える自根キュウリ「夏めぐみ」の栽培法を学びました。

講習会では、種苗会社の山崎さんから摘花や病気についての講義を受けた後、実際に園地の自根キュウリを見ながら指導が行われていました。

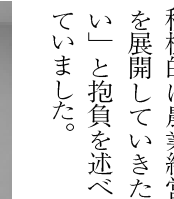


↑自根キュウリ
←JAつがるにしきた鶴翔きゅうり部会の皆さん

家族経営協定調印式が執り行われました

家族で効率的な農業経営を目指す、農業を楽しく実践するため、7月7日(木)、役場庁舎会議室で町農業委員会主催「平成23年度鶴田町家族協定経営調印式」が執り行われました。

今回調印式に参加されたご家族は、胡桃館地区で水稲・果樹園を営む三浦久利さん照江さんご夫妻。調印された三浦さんは「少ない労働力の中で、役割分担をして効率的に行うことは、妻にとつて非常にやりがいがあり、望ましい形です。この約束を励みに積極的に農業経営を展開していきたい」と抱負を述べていました。



△調印する三浦さん

△調印した三浦さんご夫妻と立ち会った農業委員会・県民局の方々

「鶴の里あるじゃ」が10周年が



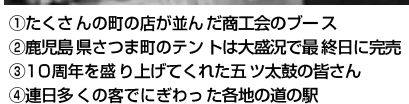
△開会式の風船セレモニーでは巨大鶴風船が



①



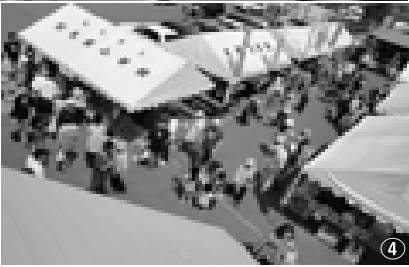
②



③



④



6月18日(土)・19日(日)の2日間、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で、オープン10周年を記念して「ご来店1000万人突破・10周年記念・全国道の駅フェア」が開催されました。フェアには2日間で各地より2万5000人の方が訪れ、各売り場のほか、鶴田産リングゴと風船のプレゼントや朝市、スコップ三味線や五ツ太鼓などのアトラクションも行われ、随所でにぎわいを見せていました。

今回出店協力していただいた道の駅は、県外から沖縄県許田、岐阜県どぶり会館、静岡県から富士川楽座と伊東マリントウンの2店、千葉県から越後川口と富葉里とみやまの2店、特別協賛として鹿児島県さつま町、県内から浅虫温泉、なみおか、十三湖高原の11の道の駅が出店してくださいました。そのほか鶴田町商工会のブース、近隣市町村の店舗がテント村を開設して特産物などの販売が行われ、大盛況な10周年のイベントとなりました。

- ① たくさん町の店が並んだ商工会のブース
- ② 鹿児島県さつま町のテントは大盛況で最終日に完売
- ③ 10周年を盛り上げてくれた五ツ太鼓の皆さん
- ④ 連日多くの客でにぎわった各地の道の駅